

正誤表(3)

■対象：第1版1刷（2010年3月27日発行）～ 第6刷（2010年6月30日発行）

訂正箇所①	82 ページ 10 行目（太字）
正	(3) <u>胸部</u> 誘導のQRS波のR波以外
誤	(3) 肢誘導のQRS波のR波以外
訂正箇所②	88 ページ 4 行目（太字）
正	胸郭の前方につけた V ₁ ・V ₂ 誘導は右室や <u>心室</u> 中隔を反映するのだろう
誤	胸郭の前方につけた V ₁ ・V ₂ 誘導は右室や左室中隔を反映するのだろう*
訂正箇所③	129 ページ 後ろから 4 行目
正	によってST部分が <u>1mm 以上</u> 低下すれば～
誤	によってST部分 1mm が以上低下すれば～

*「左室中隔」も誤りではありませんが、より一般的な表記を採用しました。

正誤表（2）

■対象：第1版1刷（2010年3月27日発行）～第4刷（2010年4月22日発行）

訂正箇所①	114 ページ 9 行目（太字） / 167 ページ 下から 2 行目
正	急性冠症候群(<u>不安定</u> 狭心症・急性心筋梗塞) ～
誤	急性冠症候群(不安的狭心症・急性心筋梗塞) ～
訂正箇所②	146 ページ 15 行目
正	胸部誘導：～ <u>2.5</u> mV を超えていて～
誤	胸部誘導：～25mV を超えていて～
訂正箇所③	154 ページ 5 行目
正	胸部誘導：～心拍数は <u>94</u> 拍/分です。
誤	胸部誘導：～心拍数は 75 拍/分です。
訂正箇所④	158 ページ 2 行目
正	胸部誘導：～心拍数は <u>60</u> 拍/分です。
誤	胸部誘導：～心拍数は 73 拍/分です。

正誤表（1）

■対象：第1版1刷（2010年3月25日発行）

訂正箇所	148 ページ 本文上から 5 行目「肢誘導」、下から 2 行目「まとめ」
正	<u>肢誘導：第 I 誘導に 1mm 以上の幅を持つ Q 波があり、そのまま aVL 誘導に視点を動かすと、同じように幅 1mm 以上の Q 波があります (①)。</u> <u>これは側壁の起電力が減少した状態と考えられます。</u> まとめ： <u>左室側壁と前壁中隔</u> の起電力が減少した病態。陳旧性心筋梗塞（ <u>側壁・前壁中隔</u> ）の可能性が高い。
誤	肢誘導：第 I 誘導、第 II 誘導に 1mm 以上の幅を持つ Q 波はありません。 まとめ：左室側壁の起電力が減少した病態。陳旧性心筋梗塞（前壁）の可能性が高い。

本書の1刷～4刷をお持ちで交換をご希望の方は、「交換希望」の旨と送付先を明記の上、着払いにて弊社までお送りください（交換代金無料）。